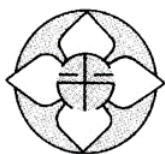


大阪市立 平野南 小学校



住所 〒547-0031 大阪市平野区平野南 2-3-8

連絡先 ☎ 06-6709-5500 ☎ 06-6799-0620

校長 東川 達宏 **開校** 昭和 35 年

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751727>

教育目標(校訓)

強く 正しく 明るく

教育方針

「子ども一人ひとりが輝く笑顔あふれる学校」

重点目標

児童の「わかった・できた・役に立った」を大切に
して、学習活動を積み上げることで、校訓の「強く・
正しく・明るく」を備えた児童の育成を図る。

大切にしたいこと

～心豊かななかかわりで
励ましの声かけ～



運営に関する計画

【概要】

- ・外国語科の研究に努め、「わかる」授業の実践に力を入れています。
- ・各種の体験・経験活動等を計画的に実施することで、児童の興味関心を高め学力向上につなげます。
- ・6年生のヒロシマ修学旅行を中心にした平和学習や、国際クラブ「オリニフェ」を中心に多文化理解教育に取り組んでいます。

【年度目標】

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.08ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を40%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の55%以上にする。
[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]
- ・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を60%以上にする。

校長先生からのメッセージ

平野南小学校は、昭和35年(1960年)4月に開校し、今年で66年目を迎えました。子どもの「わかった・できた・役に立った」という思いを大切にしたい教育活動を推進しております。学校の特色をいかした取り組みができるように、学びのスタイルなど、工夫と改善を図り、「笑顔あふれる学校」として、教育活動をすすめてまいりますので、よろしくお願いいたします。

校長 東川 達宏

R6年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	
54	53	平均正答率(%)

●結果の概要／

平均正答率では、国語・算数ともに全国、大阪市の結果を下回っている。国語では、全国とは13.7ポイント、大阪市とは12ポイントの開きが見られる。また、算数では、全国とは10.4ポイント、大阪市とは9ポイントの開きが見られる。

平均無解答率については、国語・算数ともに全国、大阪市の結果より高くなっている。国語では、全国より2.6ポイント、大阪市より3.5ポイントの開きが見られる。また、算数では、全国とは2.8ポイント、大阪市とは3ポイントの開きが見られる。平均無解答率の高さが平均正答率を押し下げてしまっている要因の一つであると考えられる。

●取組の成果と課題／

〔国語〕物語の人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる問題については、平均正答率が全国より0.4ポイント、大阪市より0.3ポイント上回った。しかし、領域別で比較すると、どの領域においても全国、大阪市を下回っている。特に「書くこと」については、全国より19.8ポイント、大阪市より17.3ポイントの開きが見られる。伝えたいことを明確に表現したり記述したりすることへの課題があることが示唆された。

〔算数〕除数が小数である場合の除法の計算については、平均正答率が全国より6ポイント、大阪市より7.3ポイント上回った。しかし、領域別で比較すると、どの領域においても全国、大阪市を下回っている。特に「変化と関係」については、全国より13.2ポイント、大阪市より12.3ポイントの開きが見られる。道のり・速さ・時間の関係についての理解に課題があることが示唆された。

R6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計得点 (点)
男子	13.94	18.00	39.33	39.72	46.82	9.37	147.83	22.36	53.82
女子	15.07	17.63	46.93	38.27	34.97	9.57	142.03	14.37	54.61

●結果と概要／

実技調査における体力合計点は、男子女子ともに全国平均を上回っていた。種目別では、長座体前屈・50m走・ソフトボール投げが男子女子ともに全国平均を上回っていた。握力・上体起こしは男子女子ともに全国・大阪市平均を下回っていた。

質問紙調査の「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目に対し、「好き」と回答する児童の割合は、男子女子ともに全国・大阪市平均を上回っていたが、男子において「やや嫌い」「嫌い」と回答する児童の割合が全国・大阪市よりも高い結果となっていた。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子女子ともに全国・大阪市平均を上回っていたが、420分以上の児童の割合は全国・大阪市平均を上回っていた。

●取組の成果と課題／

本校は、休み時間や放課後に外遊びをすることが好きな児童が多く、学級担任を交えたクラス遊びなども盛んに行なわれている。また、体力向上のための持久走や大縄跳びを全校で取り組むことで、冬季の運動量確保に努めている。しかし、校区の特性上公園が少なく、一旦家に帰ると遊べる場所が少なく発達段階に即した運動量を確保しにくい現状がある。質問紙調査の「スクリーンタイム4時間以上」の児童の割合が全国・大阪市平均よりも高いことから放課後の運動量が少ないことが示唆される。今後も放課後の校庭開放をはじめ、遊びや運動ができる機会や場所を提供できるよう努めていきたい。

質問紙調査の「体育の授業は楽しいですか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合は、全国・大阪市平均を上回っていた。今後も体育科の授業改善を行うとともに、運動することの大切さや必要性の指導を継続していきたい。

学校の特徴



対面式



給食当番



2年生との学校探検



春の遠足



保幼小交流



秋の遠足



授業の様子



6年生とのプール



休み時間の様子



秋の遠足



授業の様子



運動会

1年生の1年間